



桜修館で学び、夢・未来、花開く



Tokyo Metropolitan Oshukan Secondary School  
東京都立 桜修館中等教育学校



令和5年度 学校案内  
Guide Book 2023

# 校長あいさつ

校長 石崎規生

東京都立桜修館中等教育学校は、旧制府立高等学校、東京都立大学附属高等学校の歴史を受け継ぎ、平成18（2006）年に新たな中高一貫校として開校しました。本校の校名は、戦前から引き継いだ校歌の中の「崇高き姿の不二の峰 国の誇りの桜花」から名付けられています。

最寄りの都立大学駅から柿の木坂を上り、旧東京都立大学キャンパス跡地であるめぐろ区民キャンパスに入ると、青々とした木々が私たちを出迎えてくれます。めぐろ区民キャンパス内のパーシモンホールはクラシックの演奏会が行われるコンサートホールで、本校の合唱コンクールもここで行われています。また、八雲中央図書館は大勢の生徒が放課後、勉強するために利用しています。この大きな緑地帯の中に位置する、美しい木々の緑の中にある校舎で、生徒たちは毎日を過ごしています。

本校は「真理の探究」を校訓とし、6年間の一貫した教育活動の中で、高い知性、広い視野、強い意志の3つを育み、「世界の中の日本人としてのアイデンティティをもって国際社会を担う人材を育成する」ことを教育方針としています。

これからの時代では、学校で学んだことや、すでに身に付けた能力よりも、自ら新たな知識や能力を獲得し、それを活用する力が求められます。そのためには、広く国際社会に目を向け、現在の社会にどんなすばらしい人類の足跡があるのかを知り、それを手がかりに自分ならどうするかを考えていくという「探究心」が大切になります。

また、本校は、論理的な思考力や表現力を育成することを柱の一つとし、「国語で論理を学ぶ」、「数学で論理を学ぶ」といった本校独自の科目を設置しています。さらに、5年生になると、探究的な学びの集大成として研究論文を作成します。

さらに、全員が参加する5年生でのシンガポール修学旅行をはじめ、国内での英語合宿、3・4年生の希望者を対象にオーストラリア等で2週間のホームステイを行う海外語学研修、4・5年生の希望者を対象にアメリカの大学で学生との交流や大学の授業などに参加するリーダーシップ育成アメリカ研修といった、広く国際社会に目を向ける機会を予定しています。さらに、4・5年生で週2時間学ぶことができる、フランス語、ドイツ語、スペイン語、中国語、ハンガリー語といった第二外国語を設定しているのも本校ならではの特色です。

学校行事では、クラスマッチ（体育祭）、記念祭（文化祭）、合唱コンクールの3大行事を自治会（生徒会）が中心になって生徒自身で運営し、充実した思い出に残る行事を作り上げています。部活動では、全国大会に出場する弓道部や日本文化部（カルタ）をはじめ、どの部活動でも熱心に取り組む姿が見られます。

ところで、中等教育学校である本校の最大の特徴の一つは、6年間を同じ仲間過ごすことにあります。時には思うようにいかないことがあっても、お互いに優しさや思いやりの心を大切にし、助け合い励まし合いながら6年間を過ごした仲間は、生涯の友人として皆さんのかけがえのない宝物となることでしょう。

皆さんも桜修館中等養育学校で充実した6年間を送り、一生の宝物を見つけてみませんか。

に貢献する力を育もうとする生徒を募集する。  
⑥自らの健康に留意し、体力の向上に努め、健全な精神を維持できる力を育もうとする生徒を募集する。

## (2) カリキュラム・ポリシー

- ①中等教育学校の特徴を生かした6年間の一貫した教育を通して、幅広い教養と発展的内容の学習を実践し、高い学力の定着を図る。
- ②前期課程で、「数学で学ぶ論理」、「国語で学ぶ論理」を学習し、後期課程では5000字の研究論文を完成させることを通して、論理的に物事を思考する力を育成する。
- ③6年間を通して、海外語学研修、海外修学旅行、リーダーシップ研修などの国際理解教育に取り組み、国際社会を担う人材を育成する。

## (3) グラデュエーション・ポリシー

- ①高い知性：確かな学力を身に付け、論理的に考えて課題を解決する力や自主的な表現力を身に付ける。
- ②広い視野：生命を大切にし、他者を思いやる心や人権を尊重する態度と国際社会に貢献しようとする態度を身に付ける。
- ③強い意志：困難な課題に対して、勇敢に立ち向かって根気よく解決する精神力と体力を有し、責任をもって行動する姿勢を身に付ける。

## スクールのミッション

「6年間の一貫した教育活動の中で、世界の中の日本人としてのアイデンティティをもって国際社会を担う人材を育成する学校」を目指し、研究論文の作成、6年間の系統的な進路指導、国際交流事業といった教育活動を通じて、真理の探究を極め、困難な課題に主体的に取り組み、粘り強く解決できる生徒を育成する。

## スクールのポリシー

### (1) アドミッション・ポリシー

- ①将来の夢や高い志を抱き、自ら進んで考え、自ら勇気をもって決断し、自ら責任をもって主体的に行動する力を育もうとする生徒を募集する。
- ②社会の様々な場面・分野においてリーダーとして活躍する力を育もうとする生徒を募集する。
- ③真理を探究する精神をもち、自ら課題を発見し、論理的に解決し、適切に表現し行動できる力を育もうとする生徒を募集する。
- ④生命や人権を尊重し、他者を思いやり、他者と共に協調する心を養おうとする生徒を募集する。
- ⑤世界の中の日本人としてのアイデンティティをもって国際社会



### 高い知性

確かな学力を身に付け、論理的に考えて課題を解決する力や自主的な表現力

### 広い視野

生命を大切にし、他者を思いやる心や人権を尊重する態度と国際社会に貢献しようとする態度

### 強い意志

困難な課題に対して、勇敢に立ち向かって根気よく解決する精神力と体力を有し、責任をもって行動する姿勢

## Oshukan Secondary School 真理の探究

### 教育目標

#### 前期課程

学習意欲を喚起し、確かな学力を身に付け、物事を論理的に考える姿勢を育成するとともに、他者を思いやる心と態度を培う。

#### 後期課程

真理の探究を目指し、強い意志をもって、知性を高め、感性を磨き、視野を広め、国際社会に貢献できる人材を育成する。

### 沿革

- 1929年2月 府立高等学校（尋常科4年、高等科3年の7年制）として、東京市麹町区永田町にて設立
  - 1932年4月 東京府荏原郡碑衾町（現在地）に移転
  - 1943年7月 東京都制の実施に伴い、都立高等学校と改称
  - 1948年4月 新学制により、東京都立新制高等学校に改組
  - 1949年4月 男女共学制実施
  - 1949年12月 東京都立大学附属高等学校と改称
  - 2006年4月 東京都立桜修館中等教育学校、開校（東京都立大学附属高等学校は2011年3月をもって閉校）
- ※校章、校旗、校歌は府立高等学校以来のものを使用している

# 特色ある教育活動

## I 6年間を通したカリキュラム

### 国語で論理を学ぶ

「国語で論理を学ぶ」(国論)では「話す」「聞く」「読む」「書く」という国語の4領域において、相手の話や文章を正確に理解し、筋道を立てて表現する能力を育成します。また、論理的に考えたり、表現したりするために、相手を意識する態度を育みます。アクティブラーニングを通して、思考力・表現力を育成していくのが「国語で論理を学ぶ」という授業です。

### 数学で論理を学ぶ

「数学で論理を学ぶ」(数論)は、身近なものを題材とし、具体的な事象を調べることを通して数量関係について理解するとともに、論理的に考察する能力を育成することを目標に、1年～3年で学習します。授業では、日常生活にある身近な題材などを課題にあげ、文字や数式、グラフ、図形を用いて、その性質を発見したり、論理的に課題を解決することをを行います。

【教育課程表】(令和5年度入学生) ※第4学年以降の教育課程は、学習指導要領の改訂に従い変更になります。現在検討中のため、現行のものを参考に示します。

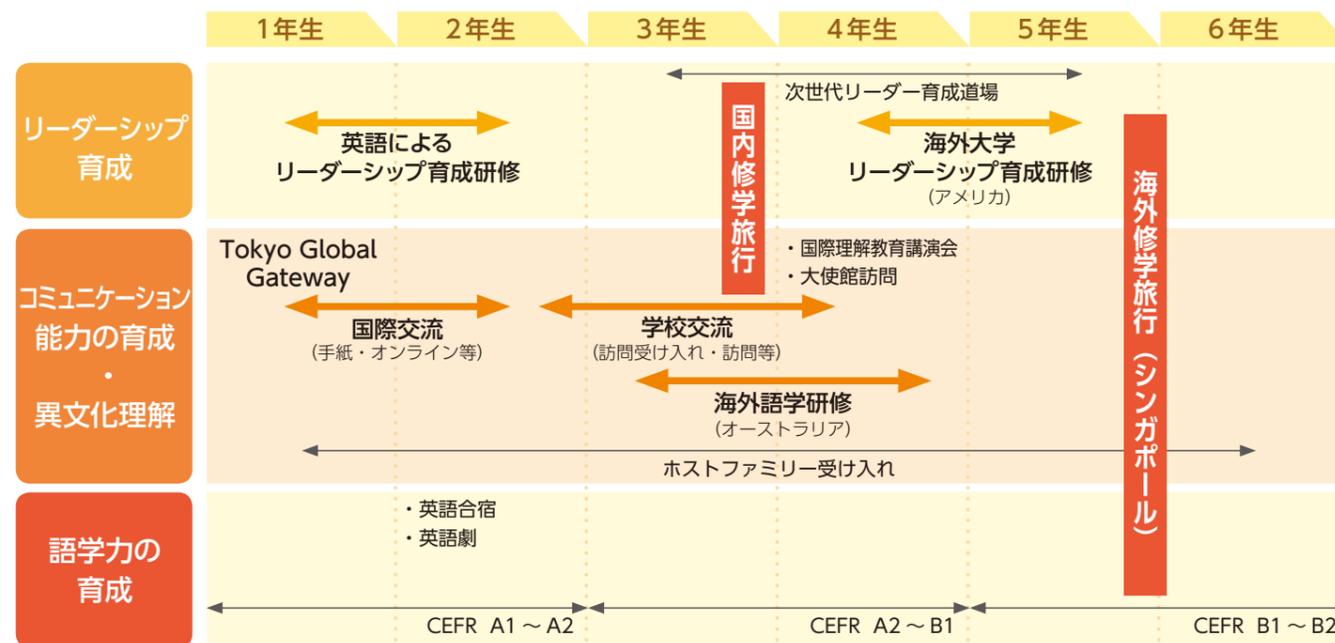
	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年	自由選択科目
1				現代の国語(2)	論理国語(2)	論理国語(2)	第二外国語
2	国語 140(4)	国語 140(4)	国語 140(4)	言語文化(2)	古典探究(3)	政治・経済(2)	フランス語(2)
3				地理総合(2)	倫理(2)	体育(2)	ドイツ語(2)
4				歴史総合(1)注6 公共(1)注6	数学I(1) 数学C(1)	英語 コミュニケーションⅢ(4)	中国語(2)
5	国論Ⅰ35(1)	国論Ⅱ35(1)	国論Ⅲ35(1)	数学Ⅱ(2)	数学Ⅱ(2)	論理・表現Ⅲ(2)	ハンブル(2)
6	社会 105(3)	社会 105(3)	社会 140(4)	数学Ⅲ・数学演習Ⅰ(2)	数学Ⅲ(2)	古典探究演習(3)	第6学年
7				数学A(2)	日本史探究 世界史探究(4)*	数学Ⅲ演習(5)	地理探究演習(2)
8				物理基礎(2)	化学(3)	数学Ⅲ演習Ⅱ(5)	数学ⅠA演習(2)
9				化学基礎(1)注6	生物(3)*	世界史探究演習A 地理探究(2)*	数学ⅡBC演習(2)
10	数学 140(4)	数学 140(4)	数学 140(4)	生物基礎(2)	地理探究 地学基礎(2)*	世界史探究演習B 日本史探究演習B 文学国語(3)*	理系古典演習(2)
11				情報Ⅰ(2)	体育(3)	文系数学発展演習(4)	理系数学演習(2)
12	数論Ⅰ35(1)	数論Ⅱ35(1)	数論Ⅲ35(1)	英語 コミュニケーションⅡ(4)	英語 コミュニケーションⅡ(4)	英語演習(2)	歴史総合演習(1)
13				英語 コミュニケーションⅠ(3)	論理・表現Ⅱ(2)	英語演習(2)	地理総合演習(1)
14	理科 140(4)	理科 140(4)	理科 140(4)	論理・表現Ⅰ(2)	家庭基礎(2)	英語演習(2)	政治・経済演習(1)
15				総合探究(1)	総合探究(1)	英語演習(2)	倫理演習(1)
16	保健体育 105(3)	保健体育 105(3)	保健体育 105(3)	LHR(1)	LHR(1)	英語演習(2)	物理基礎演習(1)
17				第二外国語(2)	第二外国語(2)	英語演習(2)	化学基礎演習(1)
18	音楽 45(1.3)	音楽 35(1)	音楽 35(1)			英語演習(2)	生物基礎演習(1)
19	美術 45(1.3)	美術 35(1)	美術 35(1)			英語演習(2)	生物基礎演習(1)
20	技術・家庭 70(2)	技術・家庭 70(2)	技術・家庭 35(1)			英語演習(2)	地学基礎演習(1)
21						英語演習(2)	情報演習(1)
22	英語 140(4)	英語 140(4)	英語 175(5)			英語演習(2)	英語演習(2)
23						英語演習(2)	フードデザイン(2)
24	道徳 35(1)	道徳 35(1)	道徳 35(1)			英語演習(2)	美術Ⅱ(2)
25	総合 50(1.4)	総合 70(2)	総合 70(2)			英語演習(2)	音楽Ⅱ(2)
26	学活 35(1)	学活 35(1)	学活 35(1)			英語演習(2)	
27						英語演習(2)	
28						英語演習(2)	
29						英語演習(2)	
30						英語演習(2)	
31						英語演習(2)	
32						英語演習(2)	
33						英語演習(2)	
34						英語演習(2)	
35						英語演習(2)	
	1120時間(32)	1120時間(32)	1155時間(33)	33～35単位	33～35単位	26～32単位	

数論や国論といった論理の授業だけでなく、様々な教科で「論理的に考えること」「文章を書くこと」「話し合いをすること」が求められます。それらの活動を通じて、実践的な論理的思考力や表現力が身につけられていると思います。



桜館では、文理を問わず満遍なく様々な教科を学ぶことができます。私は文系ですが、しっかりと理科や数学も学び、幅広く基本的な教養を身につけることができ、進路選択においても、それがとても役立ちました。

## II 国際理解教育



### ●「オーストラリア海外語学研修」参加生徒の声

今回の語学研修に参加して、日本にはないことをたくさん経験できました。出発前は、英語でコミュニケーションをとることができると不安でしたが、実際に現地の方々とは会話するのは本当に楽しく、充実した毎日でした。オーストラリアについても学ぶことができ、視野が広がったと思います。(4年)

### ●「次世代リーダー育成道場」派遣生徒の声

英語を話せるようになり、国際機関で働くという夢をより前向きに考えられるようになりたいと思い、本プログラムへの応募を決めました。この合格を新たなスタートとして、失敗を恐れずに、挑戦を続けていきたいです。(4年)

### ●「Tazaki財団英国留学奨学第5期生」合格生徒の声

スコットランドでは桜館での学びが活かされ、ピアノコンクールで優勝したり、勉強も最高評価を取ることができたりと充実した生活を送っています。将来は経済の視点から国際発展に貢献できる人材になりたいです。(5年)

### ●「英語によるリーダーシップ育成研修」参加生徒の声

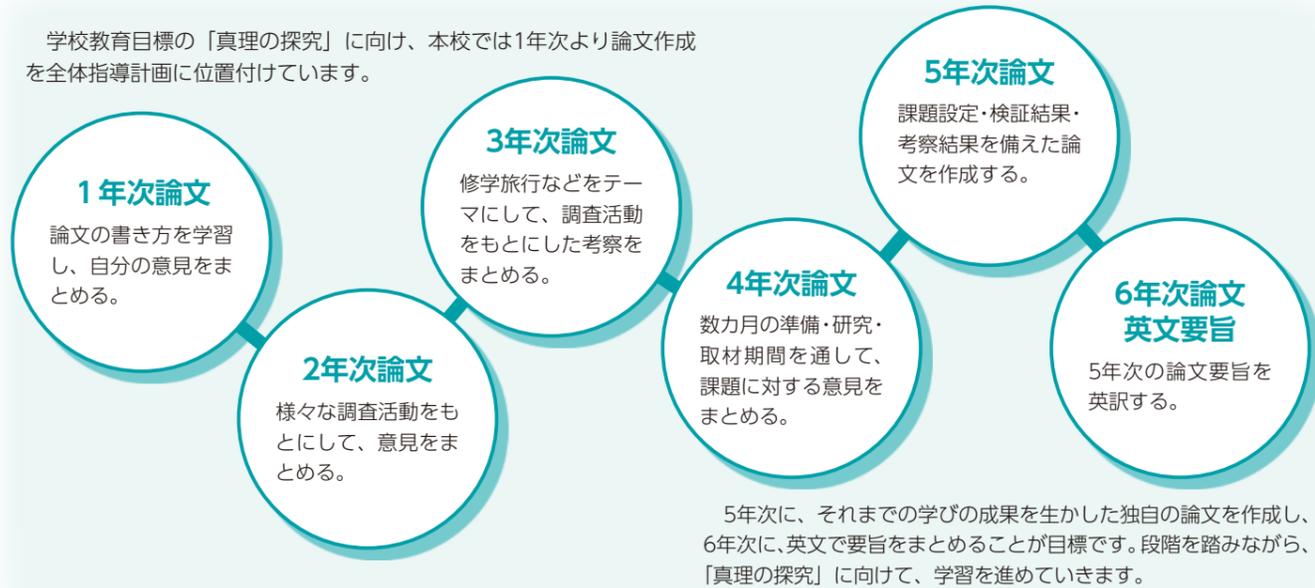
私が英語研修に参加して学んだことは「様々な生き方があること」です。世の中には75億人もの人々が、数ある中でもただ1つ、それぞれの人生を歩んでいます。戦争や紛争のある国々、貧困が問題となる地域など色々なバックグラウンドを持つ留学生たちから伝わってくる意志の強さや努力に心を動かされました。(2年)

### 海外大学合格者数推移

大学名	設置区分	国名	令和4年	令和3年
Juniata College	私	米	1	
Marietta College	私	米	1	
Beloit College	私	米	1	
Lycoming College	私	米	1	
Coe College	私	米	1	
Drury University	私	米	1	
University of California, Riverside	公	米		1

# Ⅲ 探究学習

学校教育目標の「真理の探究」に向け、本校では1年次より論文作成を全体指導計画に位置付けています。



## 桜修館での集大成

5000字の研究論文作成。自分自身でテーマを決めて、担当の先生に指導を受けながら1年間かけて作成します。

### 論文最優秀賞 戦後ベストセラー小説における文体の変遷

#### 1、研究テーマ

昭和時代に書かれた文章に硬さや古ぼかさを感じることもある。これは昭和と平成で小説の文体に差異があるためだと考えられる。この差異を明確にするため、戦後日本の昭和から平成における小説の文体の変遷を調査する。

#### 2、検証・結論

昭和と平成のベストセラー小説各10作品の冒頭における地の文10文ずつを分析した。検証の結果、(1)1文あたりの単語数が32%減少、(2)1文あたりの文字数が27%減少、(3)接続助詞の使用率が55%減少、(4)接続詞の使用率が104%増加していた。また、冒頭10文に「原因・理由」と「逆接」の意味を持つ接続助詞が出現する作品の数を昭和と平成で比較すると、(5)「原因・理由」が4作品から1作品に減少、(6)「逆接」が8作品から3作品に減少していた。従って、文が短くなり、接続助詞が減少し、接続詞が増加したという文体の変化が明らかになった。

#### 3、考察

上記のような変化がみられた要因を考察した。まず、平成の小説においては昭和よりも描写や説明の量が少なく、簡潔で曖昧な表現が多いため、文が短くなったと考えられる。これには小説の「語り手」の特性の影響が窺える。昭和の小説では、小説世界について熟知している語り手が断定的な表現を用いて話を展開する傾向にあった一方、平成の小説の語り手は推量や主観に基づいてものを語るが多い。また、平成の小説では、頻りに文を切ることで接続助詞のかわりに接続詞を用いる場合が増えたほか、接続助詞も接続詞も用いず文と文の関係性を明確にしない例も見られるようになった。さらに、接続助詞減少の別要因として、平成の小説では出来事の原因や理由を明確にしない例が見られるようになり、「原因・理由」の接続助詞があまり使用されなくなったことも挙げられる。

昭和の小説から文章の硬さや古さが感じられる要因には、文体的特徴の変化が影響していた。最近の読者は、簡潔で読みやすく続きを読みたいと思うような文章を好み、明確な表現や語り手による押し付けを嫌う傾向にあるのかもしれない。また、語り手の特性の変化について、語り手の人称やベストセラー小説のジャンル傾向などと関連付けて研究することは今後の課題といえる。

### 論文最優秀賞 社会的自己制御が窃盗症に及ぼす影響

#### 1、研究テーマ

窃盗症とは、窃盗することによって得られる快感のせいで、窃盗をやめることができなくなる精神疾患で、性比は男性1対女性3とされている。先行研究では、窃盗症の発生過程については示されていたが、なぜ男女差が生まれるのかについては示されていなかったため、窃盗症の発症と男女差との関連について検討することにした。

#### 2、検証方法

社会的自己制御に男女差があるかを調べる為、桜修館の生徒に質問紙調査を行い、その結果をSPSSというソフトを用いて統計処理を行なった。このときの調査では、社会的自己制御尺度を用いた。この尺度は3つの下位尺度から成っており、それぞれ「自己主張」「持続的対処・根気」「感情・欲求抑制」を測定する。

#### 3、考察

検証結果から、社会的自己制御のうち、「自己主張」については男性の方が高かったが、「持続的対処・根気」「感情・欲求抑制」の二つについては、女性の方が高い結果となったことが読み取れた。この結果から、女性は感情を抑制することに長けているからこそ、抑えすぎた日々のストレス等を窃盗という行為を通じて発散するという可能性が考えられる。また、その根気強さから、窃盗症のある女性は窃盗を根気強く行ってしまう可能性も考えられる。

#### 英語要旨

#### The Effects of Social Self-Regulation on Kleptomania

Kleptomania is a mental illness: a person is not able to stop theft because pleasure is obtained by stealing. The gender ratio is 1 part male to 3 parts female. Preceding studies showed that the process of why a person becomes Kleptomania, but it does not why gender differences arise, so I decided to consider the relationship between the onset of Kleptomania and gender differences.

# Ⅳ 理数教育

## 『生徒の学習や研究の支援』と『専門機関と連携した先端科学実験の充実』



本校は東京都より理数研究校の指定を受け、外部機関と連携する等して、理数分野の学習や研究に主体的に取り組む生徒を支援しています。これらの本物に触れる体験を重視したキャリア教育を通じ、生徒の高い知的好奇心を刺激し、理数分野に関心をもつ生徒の裾野を広げ、探究活動への関心を高め、学習・探究の動機づけとすると共に、生徒の素質や才能、力を伸ばしていきます。

### 1 東京大学生産技術研究所による科学部生徒への研究協力

科学部では外部機関からの研究協力も受けながら、研究活動を行い、誌上発表、ポスター発表、口頭発表を行っています。研究テーマ「セメント表面における光触媒能の評価と温度応答性保水材料の応用～SDGsの達成に向けたCool & Cleanな材料の開発～」は、以下の賞を受賞しました。

- 令和2年度 2020こち総文「研究奨励賞」(口頭発表化学部門全国5位以内) 受賞
- 令和3年度 東京都理科研究発表会「最優秀賞」(東京都総合・化学部門第1位) 受賞
- 令和4年度 とうきょう総文2022「奨励賞」(ポスター発表部門全国4～8位) 受賞



### 2 外部機関と連携した実験教室や講演会の実施

- ・東京大学大学院 医学系研究科 生体情報学教室 研究室見学
  - ・探究活動に関するガイダンス (京都大学学びコーディネーター事業)
  - ・慶應義塾大学 理工学部応用化学科 分析化学研究室による実験教室
  - ・京都大学大学院 医学研究科 博士課程在籍の学生による講演会
  - ・東京大学サイエンスコミュニケーションサークル(CAST)による実験教室
  - ・桜修館サイエンスフォーラム
- ※令和元年度～3年度の一例です。



### 3 各種科学コンテストに対する支援

- 令和4年度 化学グランプリ 二次選考出場「銅賞」受賞
- 令和3年度 科学の甲子園ジュニア東京都大会 出場  
日本生物学オリンピック 本選出場「銅賞」受賞  
化学グランプリ 「日本化学会関東支部奨励賞」受賞(2名)  
科学の甲子園東京都大会 総合10位
- 令和2年度 科学の甲子園ジュニアエキシビジョン大会 化学1位協働パートナー賞受賞  
日本生物学オリンピック 一次予選通過(2名)  
日本地学オリンピック 一次予選通過「奨励賞」受賞



科学オリンピックに向けて先生方が二か月間の特別講義を休みに開いてくださいました。また、科学の甲子園では出場経験のある卒業生方が指導に来てくださり、チームメイトと実技競技を試行錯誤しながら行いました。どちらも学年を超えて一緒に勉強したことはとても楽しく貴重な経験になりました。先生方や先輩方にも相談しやすく、興味のある分野の学びを深められる学校だと思えます。

(5年)

「サイエンスフォーラム」は、研究や科学オリンピックを経験された先輩や講師の方の発表に対し、活発に質疑応答が行われる、活気に溢れたものでした。また、「科学の甲子園ジュニア東京都大会」では、チームを組んだ友達と協力して課題に取り組みました。他にも実験教室等からは、良い刺激を受けることができました。桜修館へ入学して、互いに高め合える友達が沢山できたことに喜びを感じています。

(2年)



# 進路決定

※過去3年間主な大学合格者数推移 (卒業生数) 令和4年 147名 令和3年 151名 令和2年 139名

## 【国公立大学】

	令和4年		令和3年		令和2年	
	合計	現役	合計	現役	合計	現役
北海道大学	6	6	3	3	3	2
東北大学	2	2	2	2	1	1
筑波大学	2	1	3	3	2	2
埼玉大学	3	3			1	
千葉大学	6	5	3	3	2	2
お茶の水女子大学	1	1	2	2	1	1
電気通信大学	2	2				
東京大学			4	3	9	6
東京医科歯科大学			1	1	1	
東京外国語大学	3	2	3	3	2	2
東京学芸大学	2	2	2	2	1	1
東京工業大学	8	7	3	3	7	5
東京農工大学			3	3		
一橋大学	4	4	2	2	2	2
横浜国立大学	9	9	9	8	11	9
新潟大学	1	1	1	1		
富山大学	1		1	1		
金沢大学	2	1			1	1
山梨大学	1	1	1	1		
信州大学	1	1			2	1
神戸大学	1					
岐阜大学					1	1
愛知教育大学					1	1
京都大学	1	1	2	2	1	
大阪大学			2	2	1	1
奈良女子大学	1	1				
九州大学			1	1		
会津大学			1	1		
高崎経済大学	1	1				
東京都立大学	3	3	2	1	5	4
横浜市立大学			3	3		
名古屋市立大学	1					
大阪府立大学			1	1		
和歌山県立医科大学			1	1		
福岡県立大学			1			
国公立大学 合計	62	54	57	53	55	42

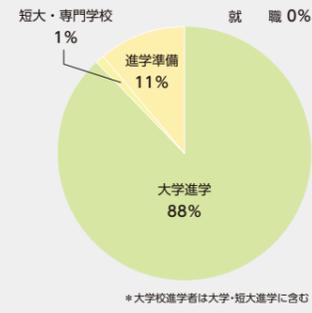
## 【私立大学】

	令和4年		令和3年		令和2年	
	合計	現役	合計	現役	合計	現役
青山学院大学	27	24	31	29	12	11
学習院大学	4	1	3	3	5	5
北里大学	5	5	3	3	5	5
慶應義塾大学	23	21	37	34	34	32
国際基督教大学	1	1	2	2	2	2
国学院大学	2	2	2	2	1	1
駒澤大学	9	9	11	8	5	5
芝浦工業大学	15	11	9	8	18	12
上智大学	14	12	33	32	23	21
成蹊大学	9	6	6	6	4	3
成城大学	8	6	5	5	4	4
専修大学	6	5	6	4	4	3
中央大学	18	16	40	33	19	18
津田塾大学	3	3	4	4	3	3
東京女子大学	2	2	5	5	3	3
東京女子医科大学			1	1	1	1
東京慈恵医科大学	1	1	2	2		
東京都市大学	3	2	2	1	9	9
東京理科大学	39	31	29	27	37	32
同志社大学	3	3			3	3
東北医科薬科大学			2			
東洋大学	10	8	20	16	6	5
日本大学	31	28	23	13	22	18
日本医科大学	1	1				
日本女子大学	5	5	6	6	4	4
法政大学	26	21	15	13	36	33
武蔵大学			4	4	2	2
明治大学	61	53	77	75	61	52
明治学院大学	11	8	13	12	8	7
立教大学	19	16	25	25	26	26
立命館大学					2	1
早稲田大学	40	38	61	57	49	42
私立大学 合計	488	415	555	496	483	427

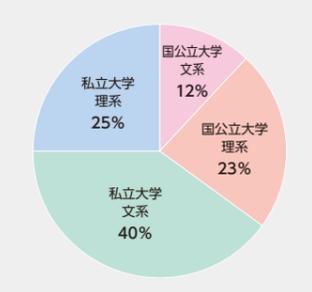
## 【大学校】

国立看護大学校			1	1		
防衛医科大学校			1	1	2	1

## ■ 令和4年(11期生)進路内訳



## ■ 令和4年(11期生)大学進学者内訳



## 卒業生からのメッセージ



令和4年3月卒業  
一橋大学 商学部 1年

合格大学 早稲田大学 政治経済学部 経済学科

桜修館での6年間は自分が大きく成長することができた場所でした。高校受験がない環境の中で、のびのびと自分のやりたいことに打ち込める環境が揃っています。私自身、クラスマッチ(体育祭)の団長や合唱コンクールの幹事を務め、6年生の9月まで部活に打ち込むという生活を送っていました。何事にも全力で取り組むことで得難い経験ができたと思っています。

また、スポーツに一生懸命取り組む人や勉学に励む人、自分にはない考えを持つ人など、様々な友達と出会うことができ、日々刺激を受けながら学校生活を送っていました。

さらに、勉強の面でも桜修館の先生に大変お世話になりました。的確なアドバイスや、わからない問題と一緒に考えてくださる先生方のおかげで、塾に通わずに第一志望校に合格することができたと思っています。

私自身、やりたいことは全てやったと自信を持って言い切れる6年間を送ることができたと自負しています。桜修館で充実した毎日を送り、大きく成長することができる場所になることを願っています。



令和4年3月卒業  
東京工業大学 物質理工学院 1年

合格大学 東京理科大学 理工学部 機械工学科

桜修館の良いところは、深い人間関係を築けることだと思います。中学・高校を通して同じ仲間と共に過ごし、行事や部活に打ち込む経験はとても貴重なものです。私自身は吹奏楽部に所属し、大好きな同期や先輩、後輩に囲まれて充実した6年間を過ごしました。部活で経験した辛いことも楽しいことも全て私にとって大切な思い出です。また、部活や行事の中で歳の離れた先輩後輩と関わることができるのも中高一貫校ならではの良いところだと思います。

学習面で言えば、桜修館での毎日の授業と年4回の定期考査を丁寧にこなせば、おのずと力がつくようになっていきます。授業と考査の中で身につけた基礎学力と勉強計画を立てる能力は今でも役に立っていると感じます。

また、桜修館には自分の好きなものに向き合い、頑張っている人が多いように思います。そんな仲間の姿は自分のやりたいことを改めて考えるきっかけになりました。努力する仲間から刺激をもらい、「私も頑張ろう」と思えることも多かったです。今振り返ると、仲間や先生方などたくさんの人のおかげで自分なりに成長できた6年間だったと思います。みなさんも桜修館で仲間と高め合いながら、楽しい思い出をたくさん作ってください!

# 部活動

部活動は活発に行われており、運動系・文化系ともに多くの部が実績を残しています

## ✓ 部活動実績

- 令和3年度**
- 科学部 東京都理科研究発表会 最優秀賞(東京都総合・科学部門第1位)
  - 前期吹奏楽部 東京都吹奏楽コンクールB組金賞
  - 弓道部 全国総体個人8位、関東大会個人5位・関東個人7位入賞
- 令和4年度**
- かるた部 小倉百人一首かるた第44回全国高等学校選手権大会 D級優勝・準優勝
  - 第29回全国競技かるた多摩大会 D級準優勝・3位、E級準優勝
  - 弓道部 全国高等学校総合体育大会 個人・団体出場



美術部生徒作品  
「Frankfurter Eiserner steg in der Nacht」  
東京都高等学校文化連盟「中央展」最優秀賞



## 弓道部

前後期合同で練習しているため、上級生の上手な選手を観察し、効率よく上達することができる。目標達成への熱意があり、上位大会を本気で目指せる。(5年)

## ✓ その他の活躍

- 数学 第25回算額を作ろうコンクール 銀賞・銅賞  
第69回東京都統計グラフコンクール (第4部、パソコン統計グラフの部) 佳作  
第32回日本数学オリンピック 本選出場
- 社会 第16回科学地理オリンピック日本選手権 兼 第18回国際地理オリンピック選抜大会 銅メダル



## かるた部

第17回全国高校生かるたグランプリに東京都代表チームの一人として出場し、優勝しました。かるた部で活動した5年間はとても充実した日々でした。大好きな競技を全力で楽しみ、尊敬する先輩方から多くのことを学び、同期と共に悩み笑いあった時間は何事にも代え難い大切な思い出です。(6年)

# 教育内容

各教科の学び



## 国語科

「言語感覚を磨き、読解力や表現力と共に論理的な思考力の育成を図る」

中高一貫の1、2年生を「基礎・探究期」とし、国語を適切に表現し正確に理解することをテーマに学んでゆきます。次に3・4・5年生を「応用・充実期」とし、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を養い、言語感覚を豊かにすることをテーマに学びを継続します。最後の6年生を「総合・発展期」とし、国語に対する認識を深め、国語を尊重する態度を育てることをテーマに学びを深めます。

前期課程では「国語で論理を学ぶ」という本校独自の授業があります。話し合いの仕方から始まり、仮説を検証する形で意見を文章にまとめる論文の書き方を基礎から学びます。これが後期課程5年次の本格的な研究論文作成につながります。また、ディベートを体験することで根拠に基づいた意見の主張や反論の仕方なども学んでゆきます。

## 数学科

「しっかり考える・きちんと解ける・そのための知識を身につける」

前期課程では、週4時間の授業を「代数」と「幾何」の2種類に分けて実施します。代数では数式や関数を、幾何では図形を中心に扱います。また、独自の教材を用い、具体的な事象を調べることを通じて数量関係について理解し、図形に対する直観的な見方や考え方を身につける「数学を論理で学ぶ」という本校の独自の授業を実施しています。

後期課程では、個々の希望や実力に応じた教育を行うために、習熟度別学習を実施しています。また、5年次には文系・理系などの進路に応じて学習内容が選択できます。

6年間を通じて、数的推理力と論理的思考力を育成します。分からないところは根気強く反復していくうちに、問題を解くだけでなく数学の世界を味わい、学ぶ楽しさを体得してゆきます。

## 英語科

「4技能をバランスよく伸ばし、世界に通用する英語を目指します」

少人数クラス（2～5年）で、ペア・グループ活動を多用し、英語を発話する機会が多い授業を行っています。6年間一貫して英文を読む、聴くというインプット活動を土台に、語彙力を育成し、スキット暗唱、劇、スピーチ、作文などのアウトプット活動を行い、「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能をバランスよく伸ばしています。

前期課程では、教材に『PROGRESS』を使用し、自然な英語表現を大量に聴く、読むことを繰り返します。英文の暗唱やサイドリーダーの多読にも積極的に取り組み、英語の思考回路をつくります。

後期課程では、様々な題材の英文を、意味のつながりや文構造を理解して正確に読む力を養います。また作文やスピーチでは一貫した論理展開で表現する力、プレゼンテーションやディベートでは積極的に英語で発表、意見交換する態度を身につけます。校内の夏期講習や補習も充実しています。

## 社会科

「国際社会に生きる民主的・平和的な国家・社会の形成者を育成する」

社会科では社会に生きる人間としての在り方生き方を考えます。地理的分野では空間的な視点から、歴史的分野では時間的な視点から人間社会における営みについて考察します。それらの基礎の上に、公民的分野の学習を展開し、公民的資質を養いながら、国際社会に生きる民主的・平和的な国家・社会の形成者を育成します。

教科の特性として、社会的事象に関する幅広い基礎的な知識はもちろんのこと、各種の資料を読み取る方法や分かりやすく表現する方法を身につけ、的確な資料活用能力の定着を図ります。社会的事象について多面的・多角的に考察し、現代社会における解決していかなければならない課題を追究する態度を育成します。

## 理科

「考えぬいて解決する学びの楽しさを味わってください」

中等教育学校という6ヵ年一貫教育の利点を生かし、前期課程から物理、化学、生物、地学の4分野に分かれ、それぞれの学問領域を体系的に学習します。自然現象についてより深く考えるために、1年生の授業から実験、観察の機会を多く設け、考察する活動を主軸に授業展開しています。

理科は暗記科目ではありません、なぜ？どうして？という疑問点を見つけ、答えを導き出す論理的思考力が欠かせない学問です。「理科論理」という授業はありませんが、理科という科目自体が「理科論理」なのです。理科の中で培った論理的思考力は、将来生きていく上で必要な問題解決力となり、それは社会で求められている人材には必要不可欠なものといえます。あらゆることに興味関心を持ち、考えぬいて解決する学びの過程を楽しみと感じられる人に、桜修館の門を叩いてほしいと願います。

## 保健体育科

「運動を論理的に考え、より充実した実践ができるようにします」

クラスマッチ（5月実施、全学年対象）やマラソン大会（2月実施、1学年～4学年対象）などの行事を目標に設定し、学年に応じた試合や競技ができるように各種目の技能を高めていきます。学習カードなどを活用し、言語で動きや作戦を表現できるようにし、運動を論理的に考えることも行います。

1・2学年は「運動の楽しさや喜びを味わうこと」をテーマとし、運動の基礎基本の習得と仲間づくりを目指します。3・4学年は「運動が得意になること」をテーマとし、各運動技能の向上、公正、協力、責任などの態度の習慣化を目指します。5・6学年は「運動の理解を深めること」をテーマとし、個を生かす教育の充実と豊かなスポーツライフの基礎作りの観点から生徒が運動種目を選択し、自主的に試合や運営ができるよう審判法についても学びます。

## 家庭科

「自立を目指し、家族や社会とのかかわりも大切にできる力を育てます」

健康で豊かな生活を送るために必要な「衣」「食」「住」などを学びます。

「衣」では、繊維の性質や、布の織り方などの学習から、季節に応じた衣服の着用などを学びます。「食」では自分に必要な食事の量とバランスの取れた食べ方を学び、調理実習を通して実生活に役立つ力をつけます。「住」では、住まいが生活を支える器であることを理解します。

「家族」や「保育」では、人とのかかわりを学びます。「消費生活」では契約や消費者としての責任ある行動などを身につけます。

生活に必要な知識や技術の習得の他に、物事を科学的にとらえることを意識します。また、生活の中の日本の文化について考えたり、生活に密着する諸問題についても考えたりすることで、幅広い視野を持った人物を育てます。

## 音楽科

「様々な音楽活動を通して感性を高め、思考力を鍛えます」

感性を刺激する様々な音楽に触れながら、鑑賞活動と表現活動を関連させて、味わって聴いたり意図をもって表現する思考力を鍛えましょう。前期課程では主に歌唱（独唱・合唱）、器楽（アルトリコーダー・箏など）、鑑賞（西洋の音楽・日本の伝統音楽）を扱い、後期課程ではアンサンブルや創作活動を充実させていきます。

## 美術科

「創造活動や鑑賞活動を通して、自分自身を表現し、人に伝える力を身につける」

前期課程では、身近なものをテーマにしながらかや形の表現の基礎を段階的に学びます。絵画、デザイン、立体造形など様々な作品の制作を通して、表現すること、鑑賞することの楽しさを味わいましょう。全ての活動を通して自分自身を表現し、発信する力を育てていきます。

後期課程では、前期課程で学んだことを活かし、素描、絵画、工芸、ポスター制作など、より幅広い表現方法を学びます。制作と鑑賞を充実させていく中で、自己を表現する活動を追求してゆきます。

## 情報科

「高度情報社会を生き抜くための教科です」

情報科は高等学校で初めて学ぶ教科です。また、一般的に全国の高校生が学ぶ必修教科の中で一番新しい教科です。情報科はなぜできたのでしょうか。高度情報社会である現在、私たちは多くの情報に囲まれています。それにより以前よりも多くの情報を処理し続けなければならない時代となりました。その時代のニーズに合わせて情報科はつくられたのです。

多くの情報があったとしても、その真偽をどのように検証すれば良いのでしょうか。そしてその情報をどのように記録すれば良いのでしょうか。さらにその情報を相手に効果的に伝えるには、どのように発信すれば良いのでしょうか。また、その情報をどのように受け止め、処理をしていけば良いのでしょうか。

これらを考えるのが情報科です。未来を生きる力の一つとして身につけるために学び、研究をしましょう。

# 桜修館の1年

生徒が自ら考え企画する学校行事を通じて  
社会のリーダーを育成します  
(令和4年度は大幅に変更になっています)



マラソン大会



入学式



防災訓練



オーストラリア語学研修



ようこそ小学生



海外修学旅行



百人一首大会



生徒自治会



卒業式

- 入学式
- 1学期始業式
- 1年生 移動教室

- 1学期中間考査
- 4年生 防災訓練
- 授業公開週間
- 2・3・5年生 フィールドワーク

- 部活動合宿
- オーストラリア語学研修
- 2～3年生 英語合宿
- 小学生対象 部活動見学会

- 1学期終業式
- 2学期始業式
- 2年生 職場体験
- 芸術鑑賞教室

- 2学期中間考査
- 1年生 美博めぐり
- 3年生 国内研修旅行
- 4年生 学フォーラム

- マラソン大会
- 生徒大会



## クラスマッチ



## 記念祭



## 合唱コンクール



**Student Voice**



令和4年度クラスマッチ幹部長(委員長)

桜修館の体育祭はクラスマッチと呼ばれています。クラスマッチの3日間は、全校生徒がA B C Dのクラスごとに6学年で1チームとなり、総合優勝を目指して競います。上級生の活躍を見て抱く憧れや、下級生と励まし合って掴む勝利など、桜修館ならではの白熱と感動の詰まった3日間です。このクラスマッチを運営するのは、幹部と呼ばれる生徒の集団です。幹部は約1年をかけてクラスマッチを計画し、一生の思い出に残る3日間を作ります。行事に限らず、桜修館の生活には、この仲間と一緒にいられてよかったと思える一瞬が溢れています。

**Student Voice**



令和4年度記念祭幹部長(委員長)

記念祭とは、いわゆる文化祭のことです。生徒はクラスや部活動ごとに劇や展示、ダンスなどを2日間に渡って行い、学校全体が大いに盛り上げられます。各団体が開催の4か月前から考えた、とても完成度の高い出し物を楽しむことができます。クラスマッチや合唱コンクールと同様に、記念祭でも「幹部」として生徒が計画、準備、運営を行っています。幹部として活動することで、勉強だけでは得られない主体性や積極性が育まれていると感じます。社会に出たときにこの経験が生きてと確信しています。

**Student Voice**



令和3年度合唱コンクール幹部長(委員長)

合唱コンクールは毎年3月に隣のめぐろパーシモンホールで開催されます。本格的なホールで、1から5年生の20クラスが奏でる個性豊かな合唱を鑑賞する経験は、桜修館ならではのものです。生徒は金賞を目指してクラスで団結し、一つの音楽を作り上げると共に、自由に有志団体を作って歌いたい曲を発表することも可能です。何か月も団結して練習に打ち込んだからこそ、金賞をとったクラスの喜びはかけがえのない思い出となります！また行事の運営は、クラスマッチ・記念祭と同様、合唱コンクール幹部の生徒が主体となって行います。

# 施設

八雲の丘に立地し、桜修館での6年間で支える施設設備が充実しています



## 制服

- 濃紺をベースとしながら、生地の中に緑色の糸を縫い込んで、光の当たり方で微妙に色合いが変化するように作られています。
- プレザー、スラックス、スカート、ネクタイまたはリボンは全員着用です。
- 本校指定のセーター、ベスト(冬用・夏用)があります。夏のシャツは半袖でもかまいません。
- 後期課程ではネクタイとリボンのデザインが変わります。

### 制服リサイクル活動

PTAが主催し、制服リサイクル活動を行っています。リサイクル品目については、制服の他に体操着、柔道着、剣道着があります。

# 入試情報

このページの記載内容は、「2. 募集人員」を除き、令和5年度向けの情報です。令和5年度向け入試要項につきましては、東京都教育委員会HPまたは本校HPでご確認ください。

## 1. 日程 ※令和5年度の内容を掲載しています

事項	一般枠募集
出願	令和5年1月12日(木)から令和5年1月18日(水)まで 入学願書は郵送〔出願受付期間に都立中等教育学校及び都立中学校が指定する郵便局に必着(郵便局留)により受付〕
検査	令和5年2月3日(金)
発表	令和5年2月9日(木) 午前9時
入学手続	令和5年2月9日(木) 午前9時から午後3時まで 令和5年2月10日(金) 午前9時から正午まで

## 2. 募集人員 ※令和4年度の内容を掲載しています

事項	一般枠募集	合計
男子	80名	160名
女子	80名	

※ 特別枠募集は、実施しません。

## 3. 応募資格 ※令和5年度の内容を掲載しています

- 令和5年3月に学校教育法に定める小学校またはこれに準ずる学校を卒業する見込みの者。
- 保護者と同居している者で、都内に住所を有し、入学後も引き続き都内から通学することが確実な者または保護者とともに入学金までに都内へ転入することが確実な者。

## 4. 出願 ※令和5年度の内容を掲載しています

本校を志願する者は、他の東京都立中等教育学校及び東京都立中学校(以下、「都立中学校」という。)並びに千代田区立九段中等教育学校への出願はできません。また、他の都立中学校の特別枠募集への出願もできません。

- 出願方法 入学願書は郵送〔出願受付期間に都立中等教育学校及び都立中学校が指定する郵便局に必着(郵便局留)により受付〕
- 出願に要する書類等 ア 入学願書、 イ 報告書、 ウ 応募資格審査関係書類(該当する者のみ)、 エ 入学考査料 2,200円

## 5. 報告書の取扱い ※令和5年度の内容を掲載しています

報告書は、「各教科の学習の記録(5・6年)」について別表に基づいて点数化します。「総合的な学習の時間」等のその他の欄については点数化しません。

- 報告書
  - ・ 報告書は、評定(3、2、1)について、別表により点数化します。
  - ・ 報告書の満点は、450点とします。
  - ※450点満点で報告書点を算出し、総合成績算出時に300点満点に換算します。

各教科の学習の記録	教科	評定					
		5年			6年		
		3	2	1	3	2	1
国語	25	17	9	25	17	9	
社会	25	17	9	25	17	9	
算数	25	17	9	25	17	9	
理科	25	17	9	25	17	9	
音楽	25	17	9	25	17	9	
図画工作	25	17	9	25	17	9	
家庭	25	17	9	25	17	9	
体育	25	17	9	25	17	9	
外国語	25	17	9	25	17	9	
評定の換算得点の満点		225			225		
報告書の満点		450					

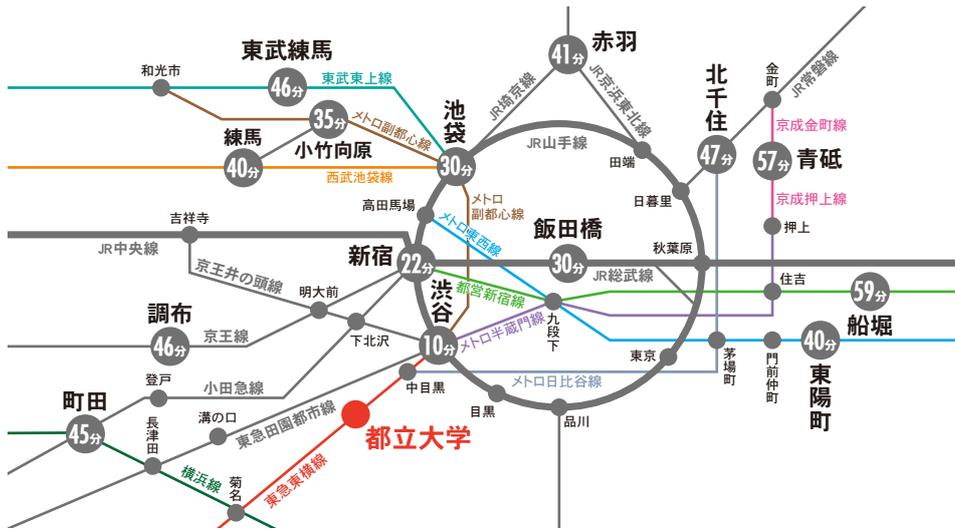
## 6. 適性検査 ※令和5年度の内容を掲載しています

- 適性検査Ⅰ
  - 与えられた題材の中から課題を見付け、情報を整理し、自分の考えや意見を正しく表現し、的確に文章にまとめる力をみる。
  - ① 独自問題
- 適性検査Ⅱ
  - 資料から情報を読み取り、課題に対して思考・判断する力、論理的に考察・処理する力、的確に表現する力などをみる。
  - ① 独自問題 ② 共同作成問題 ③ 共同作成問題

## 7. 入学者の決定 ※令和5年度の内容を掲載しています

- 検査等の取扱い
  - 入学者の決定には、報告書、適性検査の結果を点数化した成績(以下「総合成績」という。)を用います。それぞれの満点は、次のとおりとします。
- 合格者等の決定
  - ア 男女別の合格候補者を、それぞれの募集人員まで総合成績の順に決定します。
  - イ 上記アで男子(女子)が充足しない場合は、合格候補者となっていない女子(男子)から募集人員まで、総合成績の順により充足します。
  - ウ 募集人員に対して過不足のないように入学者を決定するため、合格候補者となっていない者のうちから、男女共同の総合成績の順により、一定数の者を繰上げ合格候補者として決定します。
  - エ 上記ア、イで定めた合格候補者を合格者、ウの該当者を繰上げ合格候補者として決定します。

報告書の換算点	適性検査Ⅰの満点	適性検査Ⅱの満点	総合成績(得点合計)
300	200	500	1,000



<b>最寄駅</b>	<b>東急東横線「都立大学」</b>	新宿から22分	池袋から30分
	渋谷から10分	練馬から40分	赤羽から41分
		町田から45分	北千住から47分



- 交通機関**
- 東急東横線  
渋谷駅より各駅停車 10分  
「都立大学駅」下車 徒歩10分
  - 東急バス  
JR目黒駅より  
(黒07) 弦巻営業所行き 約30分  
「都立大学附属高校前」下車



# 東京都立 桜修館中等教育学校

〒152-0023 東京都目黒区八雲1-1-2  
TEL. (03)3723-9966 FAX. (03)3724-7041

<https://www.metro.ed.jp/oshukan-s/>

